

第38回

詩歌文学館賞贈賞式

◆2023年◆

5月27日(土)午後3時

日本現代詩歌文学館講堂

◆主催◆

日本現代詩歌文学館振興会
公益財団法人 一ツ橋綜合財団
北上市/北上市教育委員会

◆後援◆

岩手県

入場
無料

記念講演

老いること
書きつづけること

講師 高橋睦郎 (詩人、歌人、俳人)



俳句部門

星野高士
渾沌

(深夜叢書社)



短歌部門

小池光
サーベルと燕

(砂子屋書房)



詩部門

齋藤恵美子
雪塚

(思潮社)



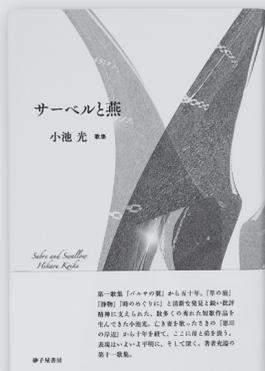
第38回 詩歌文学館賞 受賞者プロフィール



2022年10月 思潮社

齋藤恵美子 さいとう・えみこ

1960年、東京生まれ。聖心女子大学文学部卒。20代後半より現代詩を書き始める。詩集に『绿豆』、『最後の椅子』（駿河梅花文学賞）、『ラジオと背中』（芸術選奨新人賞・地球賞）、『集光点』、『空閑風景』（高見順賞）など。



2022年8月 砂子屋書房

小池光 こいけ・ひかる

1947年、宮城県生。東北大学理学部卒。歌集に『バルサの翼』（現代歌人協会賞）、『草の庭』（寺山修司短歌賞）、『時のめぐりに』（空沼賞）、『思川の岸边』（読売文学賞）など。エッセイ集に『うたの動物記』（日本エッセイスト・クラブ賞）など。読売新聞ほか歌壇選者。埼玉県在住。



2022年8月 深夜叢書社

星野高士 ほしの・たかし

1952年、神奈川県鎌倉市生まれ。俳誌『玉藻』主宰。『ホトギス』同人。鎌倉虚子立子記念館館長。日本伝統俳句協会常務理事。国際俳句協会理事。俳句ユネスコ無形文化遺産登録推進協議会理事。詩歌文学館賞選考委員（2019～21年）。神奈川新聞俳壇選者。句集に『残響』他多数。著書に『星野立子』などがある。

記念講演

老いること 書きつづけること

●講師 高橋陸郎（詩人、歌人、俳人）

1937年、福岡県生まれ。少年時代より自由詩、短歌、俳句、散文を併行して制作。小説、オペラ、能、狂言、浄瑠璃なども手がけ、同時に古典文芸や伝統芸能の読み直しを続けている。詩集に『姉の鳥』（詩歌文学館賞）、『深きより 二十七の聲』（毎日芸術賞）、句歌集に『稽古飲食』（読売文学賞）、句集に『十年』（蛇笏賞、俳句四季大賞）など著書多数。2000年、紫綬褒章を受章。17年、文化功労者、日本芸術院会員に選出。

選考委員

詩

伊藤比呂美
小池昌代
佐々木幹郎

短歌

加藤治郎
吉川宏志
米川千嘉子

俳句

西村和子
三村純也
渡辺誠一郎

*第13期 第37回～第39回(2022-24)

交通のご案内

北上江釣子ICから／国道107号線を釜石方向へ東進約2.5Km

JR北上駅から●タクシー：約6分

●バス（岩手県交通）：駅西口乗場より乗車、まちなかターミナル下車徒歩約7分

●JR乗換：北上線横手行（本数僅少）、柳原駅下車徒歩約3分

日本現代詩歌文学館

〒024-8503 岩手県北上市本石町2-5-60

TEL 0197-65-1728 FAX 0197-64-3621

URL <https://www.shiikabun.jp> E-mail shiika@shiikabun.jp

